

開講科目名	日本語聴解・会話中級A				
成績入力担当	波多野 博顕			開講区分	単位数
				第1クォーター	0.0単位
ナンバリングコード	R1IG050	曜日・時限等	月3(対面)	時間割コード	

#### 授業のテーマ

授業のテーマ：中級レベルの聴解・会話能力の育成を図る。

#### 授業の到達目標

1. 日常会話が正確に聞き取れる
2. 目的、状況、人間関係に応じた話し方ができる
3. トピックに関連した表現、語句を覚える

#### 授業の概要と計画

本授業では、指定のテキストを用いて、以下のスケジュールで授業を進める。

基本的に1トピック2回のクラスで学習する。授業では、語彙・文法・表現を確認し、ディクテーション、ペアワーク、グループワークなどの応用練習を行い、より実践的な聴解・会話能力の向上を図る。

授業のスケジュールは以下の通り。

- 第1回（4月13日）：イントロダクション、出会い
- 第2回（4月20日）：貸してもらう1
- 第3回（4月27日）：貸してもらう2
- 第4回（5月11日）：予定を変更する1
- 第5回（5月18日）：予定を変更する2
- 第6回（5月25日）：レストランで1
- 第7回（6月01日）：レストランで2
- 第8回（6月08日）：まとめ/試験

授業内容については、開講後に受講生と相談の上、変更することがある。

週1回 全8週  
1科目15時間

#### 成績評価方法

成績評価方法：

授業での活動、課題、試験で評価する。

1. 授業活動及び授業参加度 30%
2. 課題 30%
3. 最終試験 40%

## 成績評価基準

### 1. 授業活動及び授業参加度：

授業内で提示する練習、タスクに取り組み、それらを通して、他の受講者とコミュニケーション活動を行おうとしているか。

### 2. 課題：

課題は、提出期限に遅れた場合や、全てやっていない場合は、減点する。小テストを実施する。

### 3. 最終試験：

語彙・表現、聴解・会話の課題によって構成された試験の内容を理解し、活用できるか。

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF（不可）とする。

## 履修上の注意（関連科目情報）

### 対象者：

本授業は中級レベルの授業である。授業は日本語のみで行う。

初級レベルの学修を終えている、あるいはGEC-Jtestで「中級レベル」と判定された学習者を対象とする。

### 関連科目情報：

「日本語聴解・会話中級B」を続けて履修することが望ましい。

## 事前・事後学修

### （事前学習）

1. 次回の会話音声を聞いて、内容を理解する。
2. BEEF+に掲載される関連語句のクイズを行なう。

### （事後学習）

1. 学習した表現、語句を覚える。
2. 学習したスキット（CD）のシャドーイングをする。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行なってください。

## オフィスアワー・連絡先

質問はなるべくクラス内ですること。

授業外で相談が必要な場合は、相談日時を事前に連絡すること。

オフィスアワー：月曜日15:00～16:30（グローバルエンゲージメントセンター3階 波多野研究室）

メールアドレス：hatano.hiroaki [AT] harbor.kobe-u.ac.jp

※上記のアドレスの[AT]の部分をアットマーク@（半角）に置き換えた上で宛先に入力。

## 学生へのメッセージ

1. 自分のレベルに合ったクラスを選んでください。  
このクラスは日本語だけで授業を行います。日本語で会話のできる人が、状況や人間関係に合わせた話し方ができるようになることを目標にしています
2. 語彙をふやしてください。
3. 聴解・会話能力を授業外でも高められるよう、自分の好きな分野で、日本語に触れる機会を多く持ってください。
4. 教科書を各自で用意してください。

## 今年度の工夫

できるだけ学生一人一人が授業内で話す機会を多くもうけます。

教科書

新版 聞いて覚える話し方 日本語生中継 初中級 1 / ボイクマン総子・小室リー郁子・宮谷敦美 : くろしお出版, 2024, ISBN:9784874249833

参考書・参考資料等

特になし

授業における使用言語

日本語

キーワード

日本語中級 聴解と会話 交換留学生（特別聴講学生）可